

E14 京葉道路の整備効果

あなたに、ベスト・ウェイ。



京葉道路と千葉県の歴史（1960～1970年）

1960年の開通を皮切りに、着実に延伸。千葉県の高度経済成長に大きく貢献！

京葉道路と千葉県の出来事	年	世の中の出来事
一之江～船橋間 開通	1960	カラーテレビ放映開始
船橋～花輪間 開通	1964	東京オリンピック 東海道新幹線 開業
花輪～幕張間 開通	1966	日本総人口1億人到達 中国文化大革命
県民人口が300万人を突破 海浜ニュータウン事業 開始 成田ニュータウン事業 開始	1968	いざなぎ景気 日本GNP世界第2位に
幕張～殿台町間 開通	1969	東名高速道路が全線開通



高度経済成長期における急速な経済成長に伴い、千葉においても臨海工業地帯の造成、首都圏のベッドタウンとして開発が進行しつつありましたが、千葉の交通は脆弱であり、東京と千葉を結ぶ唯一の国道は狭隘で慢性的な渋滞状態にありました。そのため、国道のバイパスとして京葉道路（一之江～船橋）が整備され、東京-千葉を結ぶ大動脈としての役割を果たします。

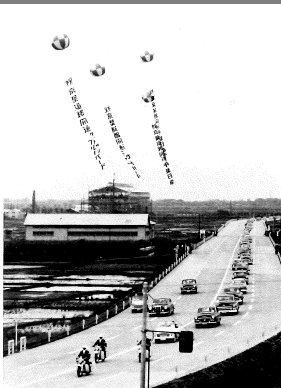
その後、京葉道路は臨海部に沿って延伸（船橋～幕張）、さらに内陸部へ延伸（幕張～殿台町）することで、更なる臨海工業地帯の成長や内陸工業団地及び大規模住宅団地の発展につながりました。

聖火リレー（1964年）



画像出典：千葉市HP
東京オリンピック検見川会場への連絡道路として急速整備

一之江～船橋間開通パレード



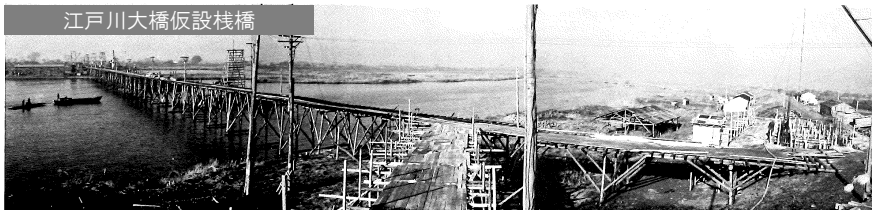
京葉JCT付近（1964年）



原木IC付近（1964年）



江戸川大橋仮設栈橋



ICはなく平面交差、中央分離帯もない

E14 京葉道路の整備効果

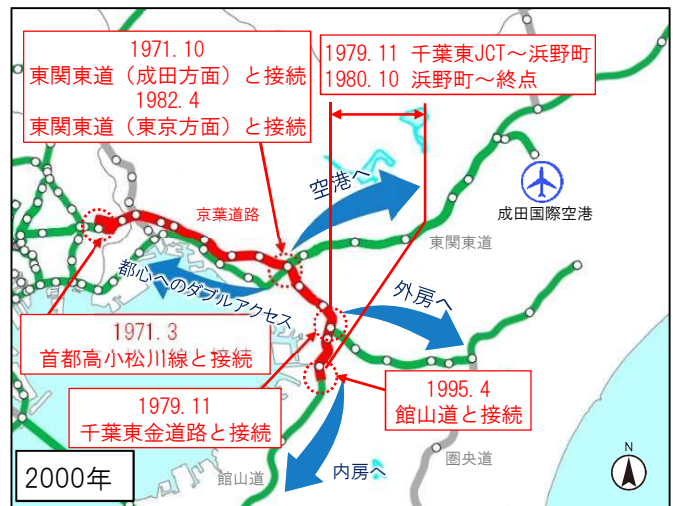
あなたに、ベスト・ウェイ。



京葉道路と千葉県の歴史（1971～2000年）

京葉道路を含めて、高速道路ネットワークが充実、千葉県は日本の玄関口、全国有数の観光地として大きく発展！

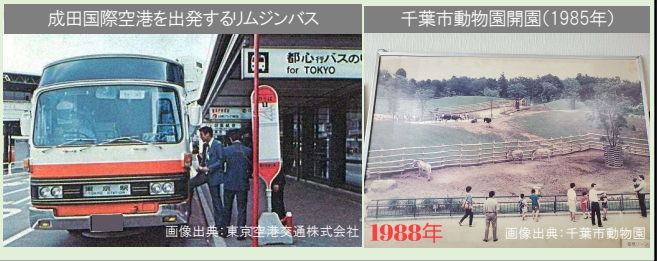
京葉道路と千葉県の出来事	年	世の中の出来事
一之江～船橋 車線拡幅 首都高小松川線と接続 東関東道(成田方面)と接続	1971	アポロ14号が月面着陸
東関東道(富里～成田)開通	1972	沖縄返還 札幌冬季オリンピック
県民人口が400万人を突破	1974	プロ野球 長嶋茂雄氏 引退
新空港道(成田～新空港) 開通	1978	成田国際空港 開港
千葉東JCT～浜野町 開通 千葉東金道路と接続 千葉東金道路開通	1979	第2次石油ショック 大学共通一次試験開始
京葉道路全線 開通	1980	イラン・イラク戦争が起こる
東関東道(東京方面)と接続 東関東道(市川～宮野木) 開通	1982	東北、上越新幹線開業 テレホンカード発売開始
県民人口が500万人を突破	1983	東京ディズニーランド 開園
東関東道(成田～大栄)開通 千葉市動物公園 開園	1985	NTT、JT誕生
東関東道(大栄～佐原香取) 開通	1986	チェルノブイリ原発事故
東関東道(佐原香取～潮来) 開通	1987	JR誕生
館山道と接続 館山道(蘇我～木更津南) 開通	1995	阪神・淡路大震災
東京湾アクアライン開通	1997	消費税が3%から5%に 引き上げ
富津館山道路(富津竹岡～ 鋸南富山)開通	1999	携帯電話の電話番号 11ケタ化



住宅化の急速な進展により、京葉道路の交通量が著しく増加したことを受け、一之江～船橋間の車線数を増加(4⇒6車線)し、一般道との接続箇所を平面交差から立体交差に変更することで、さらに輸送力を強化してきました。

東関東道との接続により、都心と成田国際空港を結ぶ連結道路としての重要な役割も果たし、千葉は日本の玄関口としてその地位を確立しました。

また、東関東道、千葉東金道路、館山道が接続し、千葉全域が都心とつながることで、千葉がより身近な存在となり、多彩な自然に恵まれた観光地、東京ディズニーランドなどの国内有数の大型観光施設が開業するなど、観光地としての魅力も高めていきました。



E14 京葉道路の整備効果

あなたに、ベスト・ウェイ。



京葉道路と千葉県の歴史（2001～現在）

高速道路ネットワークは進化し、更に活気があふれる県へ！

京葉道路と千葉県の出来事	年	世の中の出来事
県民人口が600万人を突破	2002	FIFAワールドカップ日韓大会
館山道(木更津南～君津) 開通	2003	郵政事業庁が日本郵政公社へ
富津館山道路 全線開通	2004	アテネオリンピック・パラリンピック
館山道(富津中央～富津竹岡) 開通	2005	NEXCO誕生
館山道 全線開通	2007	米サブプライム問題
Pasar幕張 開業	2008	リーマン・ショック
貝塚～穴川東(上) 付加車線整備	2014	ソチオリンピック・パラリンピック 御嶽山が噴火
穴川中～貝塚(下) 付加車線整備	2016	熊本地震
外環道と接続 京葉市川IPA(下)整備	2018	史上初の米朝首脳会談
首都高中央環状線と接続	2019	元号が平成から令和に改元 消費税が8%から10%に
武石～船橋(上)、千葉東JCT ～貝塚(上)、千葉東～千葉東 JCT(上) 付加車線整備	2020	新型コロナウイルス流行 菅政権発足
京葉JCT B・ランプ整備予定 京葉市川IPA(上)整備予定	5	



圏央道、外環道の大部分が整備され、首都圏高速道路ネットワークが拡大しており、京葉道路も外環道及び中央環状線と接続することで、千葉と首都圏全域がつながりました。産業面においても、観光面においても、千葉県の更なる発展が期待されています。

京葉道路は、現在において東京～千葉の大動脈であり、果たすべき役割はますます大きくなります。渋滞対策など更なる機能向上を追求し、今後も千葉県の成長に寄与しつづけます。

千葉東JCT～貝塚(上) 付加車線(2020年)

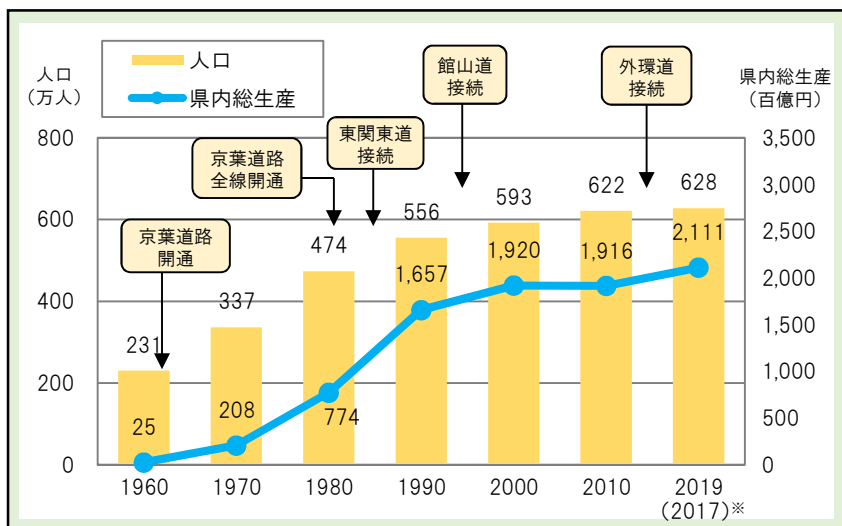


武石～船橋(上) 付加車線(2020年)



千葉県人口と県内総生産の推移

京葉道路の延伸、高速道路ネットワークの拡大を受けて、千葉県は全国6位の人口(2019年)、第6位の県内総生産(2017年)に発展



出典：千葉県統計年鑑(人口)、県民経済計算(県内総生産) ※県内総生産は2017年度